

社会福祉だより

志あわせ

2022(令和4)年4月1日 166号

総人口 6,536人

65歳以上人口 2,864人

高齢化率 43.82%

2022(令和4)年3月1日現在

ひまわり会(ひとり暮らし高齢者憩いの日)の様子

あの頃

昭和58年4月 ひまわり会館

諏訪保育園との交流

ちづ保育園との交流

いま

令和4年2月 保健・医療・福祉総合センターほのぼの

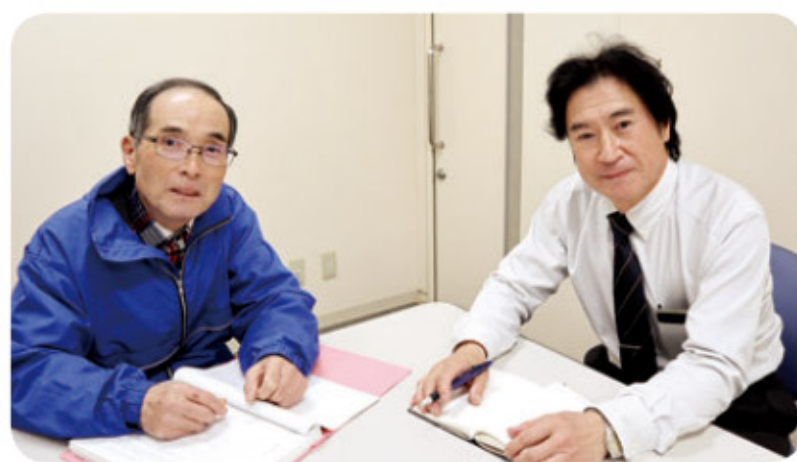
おかげさまで 50周年!!

智頭町社協は、1972(昭和47)年10月23日に社会福祉法人となり、今年で50周年を迎えます。これもひとえに住民の皆様の温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

〔発行〕智頭町社会福祉協議会 八頭郡智頭町智頭1875 TEL75-2326 FAX75-4110



2022年度 智頭町社協の取り組み 「法人設立50周年をどう迎えるか」



会長理事 小林 一晴
常務理事 津田 英樹

(小林)

私たちの生活

の中に「新型コロナ

ウィルス」という厄介なものが入り込んでしまっただけから、もう2年が経ってしまいました。昨年の秋頃には感染もかなり落ち着き、「これで終息に向かうのかな」と期待を持てる時もありましたが、なかなか先が見えてきません。

人が集うことを前提に社協の仕事は成り立っていますから、正直、本当に難しい毎日が続いているわけですが、そのコロナ禍にあつて、昨年度は「工夫をしていこう」と決めていました。

非常に大切な地域の取り組み

(津田)

社協の仕事は、「住民の社会

活動への参加」が土台にあつて成り立っています。「社会活動への参加」なんて言うのが難しく聞こえるかも知れませんが、集落の公民館に集まり、ご飯を作って皆で食べる、というようなこともものすごく意味のある社会活動ですよ。

今年の正月明け、ある集落の集まりに出かける機会がありました。その日は、ひと晩で膝よりも深く雪が積もった日で、「どうやって出てこれたの?」と思うくらい吹雪の日でしたが、高齢の方を中心に20名近くの方が公民館に集まり、食事をとり「こうして皆で集まるのが本当に楽しい」と過ごされていました。それで、「これだけ雪で大変でもこの村が良い。町なんかに出られりやせん」と。

同行していた職員が「地域活動も命がけですね」と冗談交じりで言うくらい吹雪いた日でしたが、そんな中でも皆さん、家に閉じこもらずに公民館に集まって来られるんですよ。

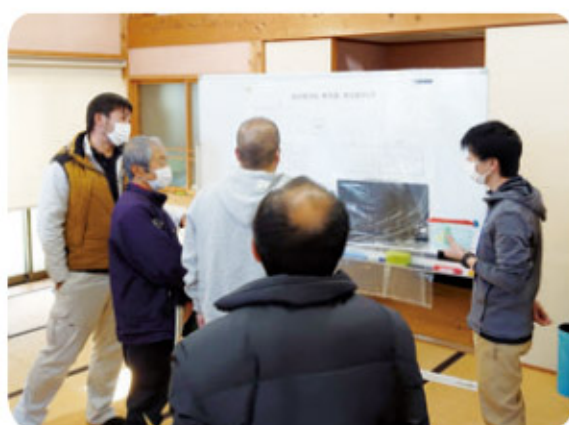
(小林)

感動を覚える話ですね。集うことがいかに大切か、地域で取り組む活動がどれだけ大切か、

という話だと思ふんですが、一昨年はそうした活動がコロナで全くできなかったもので、何とか工夫してやっていこうよ、という一年でした。

(津田)

集落ミニデイ、ふれあいサロン、配食活動、高齢者の集い、老人クラブや遺族会…。社協にはたくさん地域活動があります。コロナ感染が始まった一昨年は「人が集う活動はすべてダメ」という雰囲気の中、集えないことの弊害にも気づきました。



防災福祉マップづくり(杉の香団地)

そしてこの一年、もちろんコロナの感染状況を見ながら

うことではありましたが、それぞれが工夫して地域活動に取り組むことができたのではないかと思います。智頭心和苑の施設見学会、出前研修会も再開できましたし、何より町の地域福祉計画に合わせて社協の地域福祉活動計画を策定することができました。

ただ、コロナ感染の終息が見えない中で、どの地域活動も中途半端に終わったなと感じますし、取り組みなかったこともたくさんあった一年だったと思います。智頭町社協が行っている障がい福祉サービスや、成年後見などの取り組み：まだまだ住民の皆さんには知っていただけてないですね。

法人化50周年を迎えて

(小林)

地域の人口が減少し、ますます高齢化が進む中、人が集うことをいっそう進めようとする社協の取組みと、人と人の接触を避けることが重要なコロナ対策と、相反するものをどうすればいいの？と頭を抱えることになりましたが、この一年、さらに工

夫していかねければなりません。さて、今年は智頭町社協が社会福祉法人化して50周年という大きな節目を迎えます。

(津田)

そうなんですよ。元々は1963(昭和38)年に地域福祉や生活困窮世帯への救済活動を目的に任意団体としてスタートしていました。途中、今のヘルパー職員の前身となる「老人家庭奉仕員」を置くなど、1972(昭和47)年9月に社会福祉法人設立の認可、10月に法人設立登記を行い正式な社会福祉法人となりました。



昭和46年度総会で社会福祉法人化を決定

2009(平成21)年からの智頭心和苑・智頭デイサービスセンター運営開始と、2017(平成29)年の社会福祉法人自立の会との合併によって組織が大きくなるとともに、社協が担う役割も飛躍的に大きくなりました。

(小林)

50周年を迎えるにあたって、ひとつは50年前、それまで任意の団体だった智頭町社協をきちんと法人化し、そしてこの智頭町の福祉をしっかりとやっていこうと奔走した先達の方々の想いを、今の私たちがしっかりと振りかえっておくことが何より大切だと思います。

二つ目はこれからの50年、智頭町社協が本当にこの町に必要な組織として在り続けるために、何をしておかなければならないのか、ということをしつかり考えていく必要があると思います。

50年というのは本当に大きな節目です。その大きな節目の年に、これからの50年を見据えて考える、そういう年にしたいなと思いますね。



「これからの50年」を担う人材育成の年

(津田)

古い記録などを見るとわかりますが、決して順風な50年ではなかったと思います。そのあたりは今年きちんと記録にまとめおきましょう。



これからの50年を見据えて、ですか。非常に重いことですが、それは人づくりに尽きると思います。小林会長も私も永く智頭町社協の運営にかかわってきましたが、今年度は、次の50年を見据え・担っていく職員へ、しっかりと世代交代していくことがいちばん重要な取組みになると思います。

地域で見守り・支え合い

現在、少子高齢化に伴い、単身高齢者や高齢夫婦世帯の増加など、支援を必要とする方が増えています。さらに、地域には、障がいのある方、子育て中の方など、様々な方が生活しています。

また、近年では、人間関係の希薄化により、家庭内や地域での助け合いの力が低下しており、孤立してしまうリスクが高く、孤立死、虐待、消費者被害トラブル、災害発生時の支援、経済的困窮などの問題に密接にかかわっていると考えられています。

なぜなら、孤立が生まれることで、日常生活を支えている家族や地域、ご近所同士の助け合いの仕組みからはずれてしまうからです。

智頭町社協では、誰もが地域で安心した生活を送ることができるよう、地域住民の見守り・支え合い活動の取り組みを推進しています。

サロン・ミニデイ



家から歩いていける場所に、住民さん同士でおしゃべりや食事をする会があったら良いと思いませんか。

例えばこんな活動

防災福祉マップ



いざ災害になった時に助け合えるよう、事前に話し合っておきます。あらためて、地域のことを知るための話し合いをしませんか。

愛の輪推進員



地域で心配な人がいた時、日頃から目配り・声かけ・訪問をする人がいたら安心できませんか。

皆で楽しむことやお互いを気遣うことなど、集落・ご近所同士の交流を増やすことで、助け合い・支え合いが活発化します。

～ 助け合い支え合う活動をお手伝いしますので、ぜひ社協までご連絡ください。～

お問合せ：総務課 電話 75-2326



智頭町社協法人化

おかげさまで



周年

智頭町社協は、1972（昭和47）年10月23日に社会福祉法人となり、今年で50周年を迎えます。

50周年を記念して、2022年度の一年を通して様々なイベントを企画していきたいと思ひます。そのひとつとして、本誌「志あわせ」の表紙では、『智頭町社協活動のいまとあの頃』と題して、この50年を写真で比べ、あの頃を懐かしみながら、法人化当初から続いている活動や時代と共に変化した活動を振り返っていきたく思ひます。

また、これを機に、役職員一同が決意を新たに、サービスの向上に努めて参ります。

これからも一層のご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。



50周年マスコットキャラクター
きょうちゃん

令和4年3月
受付開始!!

ボランティア活動保険

～ボランティア中のもしもの備えに～

【令和4年度加入プラン】

新設

			基本プラン	天災・地震 補償プラン	特定感染症 重点プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外*		初日から補償
地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
賠償の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	550円

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

【補償期間】

2022（令和4）年4月1日～2023（令和5）年3月31日まで
中途加入の場合は、加入申込手続き完了日の翌日から補償します。
詳しい補償内容や加入手続きについては、社協へお問合せください。



お問合せ：総務課 電話75-2326

勝手に表彰!

第29号



まえ た ひろ あき
前田博昭さん (山形)

ひまわり会(ひとり暮らし高齢者憩いの日)や山形地区社協などで、幅広くボランティアをされている前田さんをご紹介します。

在職中は仕事一筋でしたが、退職し時間に余裕ができたのを機に、何か人の役に立つことはないかと考え、「そうだ!ボランティアをしよう」と思いついたのが、ボランティア活動の目覚めだったそうです。

平成26年、山形地区社協会長とひまわり会の高齢者委員を引き受けたのをきっかけに、老人クラブ、配食サービス、オレンジカフェなどで活躍されています。また、平成30年7月の豪雨災害では、智頭町内の被災地に行き、復旧作業をされました。

さらに、みなさんに楽しんでもらいたいとの思いから、数年前にマジッククラブに入って、只今ネタを勉強中!気さくで親しみやすい性格からボランティア先でも人気の前田さんです。

「高齢の方が笑顔で話しかけてくれたり気遣ってくれたり、逆に元気をもらっています。困っている人がいれば、体力のある限りボランティア活動を続けて行きたい」と語る前田さん、勝手に表彰します。



山形地区社協配食サービス

小学生の福祉体験学習で手品を披露♪

「志あわせ」の ご意見・ご感想を お寄せください

抽選で3名様に
「トスク商品券」を
プレゼントします。

①応募方法

ハガキまたは応募用紙等に住所・氏名・電話番号・年齢を明記のうえ、ご意見・ご感想をご応募ください。

②応募先

〒689-1402
智頭町智頭1875番地
智頭町社会福祉協議会 総務課
電話: 75-2326 FAX: 75-4110
メール: chizu0804@jade.plala.or.jp

③締め切り

2022年4月30日(土)

※当日消印有効

(山形 70代女性)

今年こそは安心して、色々楽しむ事ができると思いきや、新型コロナウイルスの増加で今年も残念な年になりそう…。

ふれあいの場ミニデイ紹介の記事を読んで、96歳の方が自力で、楽しんで参加されている。その姿がほほえましく感動とパワーを感じました。ありがとうございます。私も負けずに頑張ろうと思いました。



☆ご感想ありがとうございました。

1月号の「志あわせ」に出前説明会を受け付けているというのを読んで、とてもいいなあと思いました。私もケアマネさんのマネジメントでたくさんサービスの利用して、働きながら両親と共に過ごせる環境を整えていただいています。もっともっと皆さんに広がればいいのにと願っています。

(那岐 60代女性)

読者の

ひろは



ご寄付ありがとうございました

(2021年12月～2022年2月まで)

*古布・タオル・シーツ 等

平尾ニット 様
浅見 万寿子 様
鳥取南更生保護女性会 様
富沢地区婦人会 様
匿名多数



*折り紙作品

中村 利江 様 長石 幸子 様

*音楽CD

堰八 良子 様

*ばれっと三田・自立の家

あおぞら(グループホーム) への各種食材
各地区給食ボランティア 様
匿名多数

掲示板

あなたの「読む」を 支援します!

音訳ボランティアの ご案内



～視覚に障がいのある方・
読むことにお困りの方へ～

文章をそのまま声に出して読み上げる「音訳」で、印刷物などの文字情報を音声に変えて伝えるボランティアのサービスがあります。自治体の刊行物、書籍、ちらしなど、ご希望の物を読みます。図や写真についても説明できます。お気軽にご相談ください。

お問合せ：電話 75-2326 (山崎)

このコーナーを使って 仲間づくりを募集しませんか?

子育て世代で集まりたい、趣味の活動を広げたい、運動する仲間がほしい、同じ悩みをもつ方と話をする機会を作りたい等々、まずは智頭町社協までご相談ください。

お問合せ：総務課 電話 75-2326

令和4年度 ゴミ箱助成のご案内

■募集数：4台

■内 容

- ・規格サイズのゴミ箱にかかる購入費の半額(約1万8千円)を助成
- ・1町内会・集落あたり1台まで
- ・応募多数の場合は抽選とします
- ・ゴミ箱の手配は社協で行います



■申込期限：2022(令和4)年4月28日(木)

お問合せ：総務課 電話 75-2326

香典返し寄付金は、サロン活動等で地域の皆様に活用していただいています。

2				1		12			月
三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	金一封	三〇、〇〇〇
南方	智頭	智頭	智頭	坂原	智頭	智頭	南方	駒帰	駒帰
西尾	菅原	田中	佐々木	折本	木村	髙	西尾	坂田	米山
眞朱子	康雄	敏二	説男	幸男	公二	弘之	敏郎	多美子	憲章
80	80	82	81	88	88	79	77	84	75
西尾	菅原	田中	佐々木	折本	木村	髙	西尾	坂田	米山
弘伸	志津子	学	房子	誠次	孝	照子	靖春	博之	律子

◎了解をいただいた方のみ掲載しております。敬称略

(2021年12月～2022年2月まで)

香典返し等寄付金ありがとうございました

ふれあいサロン紹介

Vol.67

•登録数 114グループ •登録者数 1,628人（3月1日現在）

ゆう ゆう

友遊サロン（山形）

他地区で行われているサロン活動を知り「毛谷部落でもやりたいな～」という声が出たのをきっかけに2011（平成23）年10月にサロン登録をしました。現在女性会員26名で年3～5回集落公民館に集まり活動しています。名前の由来は、「友達のように楽しく遊びたい」という思いで付けました。当初はお出かけもしていたそうですが、近年はサロンで公民館の掃除をしたり食生活改善グループのレシピで料理を作ったり、おしゃべりをして1日楽しく交流しています。会員の年齢は母娘ほど幅が広く、特に母世代（82～94歳）は、サロンをとっても楽しみにしていて、娘世代が帰った後も話が弾み4時頃までゆっくり過ごしているそうです。年齢に関係なく交流ができ、とても楽しい会です。

毛谷のみなさん、ぜひサロンに入って、私達と楽しい時間を過ごしましょう。



「暮らしを考える会」で、意見交換



ご飯の後は、コーヒータイム♪



高齢期の食生活を考えたメニューでした

大雪のため、母世代はお休みでした。残念!!

ふれあいサロンは一部赤い羽根共同募金の配分金で運営しています。

ふれあいの場

ミニデイ紹介

Vol.37

60歳以上の方の健康の維持・増進・生きがいのある生活を支援する活動「ミニデイ」の活動を紹介します。登録数：37グループ 登録者数：635人（3月1日現在）

しあわせ会（土師）

2017（平成29）年にミニデイ登録をしました。“しあわせ会”の原型は中山根に嫁いだお嫁さんが入る婦人会でした。現在の会員は10名で60代、70代、80代と三世代がバランスよく集まっています。平均年齢は74歳。毎月第3土曜日に中山根公民館で、みなさんでお昼ご飯を作り、一段落したら、お大師様を拝んでいます。ミニデイをきっかけに、お大師講仲間が2名増えたそうです。

しあわせ会は「和気あいあいと仲の良いところ」が自慢だそうです。昔から中山根は人間関係が良い集落で、その先輩方の教を習っているからか、年齢に関係なくお互いが遠慮なく好きなことが言えるそうです。

一時期コロナの影響で、ミニデイが出来なかった時は「本当にせいがなかった」と、みんなで集まって交流することの大切さを実感されたそうです。これからも元気でミニデイ&お大師講を続けて行くことが目標だそうです。



お大師講の伝統を守っています♪



お元気ですか!

お休みされた方を訪問

